

## パーキンソン病に合併した restless genital syndrome における レストレスレッグス症候群類似の病態の考察について

鈴木 圭輔<sup>1)\*</sup> 宮本 智之<sup>2)</sup> 平田 幸一<sup>1)</sup> 宮本 雅之<sup>3)</sup>

### Pathophysiological similarity between restless genital syndrome and restless legs syndrome in Parkinson's disease

Keisuke Suzuki, M.D., Ph.D.<sup>1)</sup>, Tomoyuki Miyamoto, M.D., Ph.D.<sup>2)</sup>,  
Koichi Hirata, M.D., Ph.D.<sup>1)</sup> and Masayuki Miyamoto, M.D., Ph.D.<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup>Department of Neurology, Dokkyo Medical University

<sup>2)</sup>Department of Neurology, Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital

<sup>3)</sup>School of Nursing, Dokkyo Medical University

(臨床神経 2015;55:848-849)

2015年5月01日

拝啓

本誌55巻4号に掲載されました「陰部むずむず感で発症したパーキンソン病の1例」(臨床神経2015;55:266-268)<sup>1)</sup>を興味深く拝読いたしました。著者らは、パーキンソン病(Parkinson's disease; PD)において安静時及び夜間に増強し、歩行により軽減する陰部の異常感覚を非運動症状の一つとして“restless genital syndrome (RGS)”と診断され、そのRGSがPDの運動症状に先行し、クロナゼパム、オランザピンからクロナゼパム、プラミベキソールへの変更で症状の有意な改善を認めたと報告されました。そして著者らはpersistent genital arousal disorderもしくはRGSは性的欲求とは無関係に陰部に異常感覚が出現し、レストレスレッグス症候群(restless legs syndrome; RLS)に類似した徴候を示し、RLSに高率に合併することとドパミン作動薬の治療反応性から、RGSとRLSの関連性を考察されています。同様にAquinoら<sup>2)</sup>はPDの運動症状の発現の早期にRGSを認め、プラミベキソール内服により改善した症例を報告しています。しかし、澤村らの症例では治療経過でクロナゼパムが併用されていたことや、RLSには症状の増悪に働くドパミンアンタゴニスト(リスペリドン)がRGSの症状改善に有効であった症例も報告されております<sup>3)</sup>。RGSはドパミン作動神経の治療反応性が報告によって背反し、そ

の病態は十分に解明されてはいません。さらにPDにおいては難治性の会陰部の疼痛が身体部位のrestlessnessと併存してみられる場合、ドパミン作動薬投与によって改善する症例がある一方で、運動症状の変動に伴って痛みが悪化し、ドパミン受容体の感受性亢進に関わる遅発性ジスキネジアとの関連が考えられる場合では逆にレボドパの減量やドパミンアンタゴニストが奏効する症例も記載されています<sup>4)</sup>。RLSの病態についても、ドパミン代謝が亢進している結果も報告されており、ドパミン作動神経システムの不安定性が関与している病態が推察されます。

著者らが指摘されたようにRGS以外にもRLSの亜型(RLS variants)となる病態としてrestless arms, restless abdomen, restless lower back<sup>5)</sup>などが報告されており、下肢以外の身体部位のrestlessnessにも留意する必要があると考えます。PDにおけるRLS, RLS variants, RGSなどの症状とその治療反応性に注目した解析が、“痛みや異常感覚”と“motor restlessness”に関する病態解明の糸口になると考え、この点についてさらに先生方のご意見をお聞きしたく、今回筆を執らせていただきました。

敬具

※本論文に関連し、開示すべきCOI状態にある企業、組織、団体はいずれも有りません。

\*Corresponding author: 獨協医科大学神経内科 [〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880]

<sup>1)</sup> 獨協医科大学神経内科

<sup>2)</sup> 獨協医科大学越谷病院神経内科

<sup>3)</sup> 獨協医科大学看護学部看護医科学(病態治療)

(Received May 5, 2015; Accepted May 26, 2015; Published online in J-STAGE on October 8, 2015)

doi: 10.5692/clinicalneurolog.cn-000760

## 文 献

- 1) 澤村正典, 當間圭一郎, 垂髪祐樹ら. 陰部むずむず感で発症したパーキンソン病の1例. 臨床神経 2015;55:266-268.
- 2) Aquino CC, Mestre T, Lang AE. Restless genital syndrome in Parkinson disease. JAMA Neurol 2014;71:1559-1561.
- 3) Wylie K, Levin R, Hallam-Jones R, et al. Sleep exacerbation of persistent sexual arousal syndrome in a postmenopausal woman. J Sex Med 2006;3:296-302.
- 4) Ford B, Louis ED, Greene P, et al. Oral and genital pain syndromes in Parkinson's disease. Mov Disord 1996;11:421-426.
- 5) Suzuki K, Miyamoto M, Miyamoto T, et al. Restless "lower back" in a patient with Parkinson's disease. Tremor Other Hyperkinet Mov (N Y) 2013;3.